



速報

申12号 2025年度賃金引上げ等に関する申し入れ
申13号 2025年度夏季手当に関する申し入れ
第2回交渉継続議論を行う No.1

-組合の主な主張



- 構造改革を推進し、融合と連携による2軸経営を実現して、いかなる経営環境の変化にも持続的に成長できる強靱な経営体質を担っていくのは、組合員でありすべての社員だ。
- グループ会社を含むすべての社員の努力に報いることが会社の努めだ。先行きの不透明感に備える投資で一番削ってはいけないのは人件費だ。厳しさを増す生活実感と労働実感への社員へのいたわりが経営幹部の立つべきスタンスだ。
- 回答は、3月11日～14日までとゾーン要求している事を強く認識していただきたい。
- 業績予想に基づく予想が計画に届きそうだとことが述べられた。計画が達成できるかどうかの瀬戸際においては夏季手当を抑制する方向に判断するのではないか。決算が出てから判断することの方が、現場の納得感を得られるものであるし、決算前に夏季手当を検討するのは時期尚早だ。それも同時期議論の弊害だ。

一会社の主な回答

- 申12号、申13号において、同時議論して頂いたことに感謝申し上げる。現時点議論できる業績や足元の状況や見通しについて一定の議論が出来た。必ず認識が一致しているものではないが、会社としては様々提案するものとして認識している。
- この間の議論において、業績や足元、生活実感、労働実感が各系統からあった。社員の皆さんが感じていることも踏まえながら取り巻く状況等、様々な事を提案して判断していきたい。
- 満額については回答できることが望ましいが、様々な要素を提案して最終的に判断させて頂く。
- 会社としては生活設計を立てて頂きたいと言う趣旨もあるので、会社として出来るだけ早く回答できるように、これから議論踏まえ熟慮し一定のタイミングで示したい。



組合員・社員の生活実感について

【食事】米の値段が倍、他にも野菜やお肉や卵も値上がり／夕飯を減らしている【生活必需品】ガソリンが200円となり、冬季は灯油も使うため二重苦／電気やガスが昨年より3万円もあがった／車通勤で1.5倍のガソリン代を支払っている【養育費】子供の習い事を減らした【生活】単身赴任をしていて2倍の費用がかかる／趣味にかけるお金を削る／毎年行っていた旅行を隔年にする。海外旅行なんて選択肢から消えた【住宅】賃貸物件も値上がり／この給料では住宅を購入しようと考えない／家賃補助や社宅の利用期間を変えた時には、現在の物価上昇は想定されていない【生活設計】今の給料で結婚は考えられないし、子供を育てられない／大幅なベースアップがなければ、安心して生活設計がたてられない【貯蓄】生活費が増え貯蓄できなくなった／貯蓄を切り崩しながら生活している

一確認 ベア・期末手当の要素に物価上昇も考慮する！

離職・モチベーションについて

社友会の集まりに出た若手が、管理者が前に並ぶ中、年末手当の感想を言えと言われたが、なにも言えなかった／経営幹部との意見交換で「もっと欲しい」と意見を述べたら、あとで管理者に「あの発言はないんじゃないの」と言われた／社員が本当に思っていることが経営に伝わっているのか不安だ／会社から「活躍のフィールドを拡大することがモチベーション向上につながる」と回答があったが、職場からは「活躍のフィールドが広がられたが、給料は上がり責任と仕事だけが多くなり病気になってしまった」と悲痛な声が届けられた。活躍フィールドの拡大だけではなく、それに見合った賃金引上げがなければモチベーションは上がり、離職も防止できない。モチベーションの最たるものは賃金だ。

第2回交渉で業績動向のみならず組合員・社員の声を会社に受け止めさせる！